



森をつくり、森とつながる。

2011年は「国際森林年」。
 大切な人へ森との絆を贈る、
 プレゼントツリー®という森林再生支援を通して、
 環境保護に参加してみませんか。

大人の海外投資
森の生活
 Life in The Forest

今日の表紙「多摩地域」里山で歴史を刻むモミジの大樹 撮影・伊藤本介

も し、「大切な人へのプレゼントに植樹
 ができる」という機会があったら、
 皆さんはどんなときに贈りますか？

例えば、出産祝いなら樹の生長と子どもの成長を重ねてイメージでき、とても喜ばれる贈り物になるはず。入学や結婚の記念としても良さそうです。
 植樹は自然環境へのプレゼントでもあり、今大きな注目を集めています。

日 本は、国土の約7割が樹々に覆われた森林大国。同時に「植林大国」でもあります。今、私たちが目にする森の多く（森林面積の約4割）は、実は戦後に植えられたもの。戦中に山々は乱伐され禿げ山だらけになりましたが、そのままでは大規模な洪水が起ります。また、復興にスギやヒノキなどの木材が大量に必要と思われたことなどから、こうした大規模な「造林」が行われたのです。

ところが、いざ植えた樹々が育つとみると、現在、木材需要は激減してしまっています。輸入材の競争もあり、1955（昭和30年）に9割超だった日本の木材自給率は今や3割にも達していません。

一 見、「木材を使わない」樹を切らな
 いのは環境保護」と思えます。しかし、原生林以外の森は人の手が入ることで健全さを保ちます。過密な樹を間引く「間伐」で、正しく手入れをされた森には陽が注ぎ、樹々も元気に育ちます。そして、その間伐した木材が使われてこそ、植樹→整備→伐採→再植樹という「森の循環」が可能になるのです。健康な森は大雨の影響を緩和し、土砂流出を防ぎ、水源地を涵養して

くれます。昆虫や鳥、動植物の楽園ともなり、森本来の姿へと成形されます。

こ んな豊かな森を再生したいと願う人が増え、植樹イベントを主催する団体も数多くなりました。「プレゼントツリー」もそのひとつ。ただし、ほかの活動とひと味違うのは、「誰かに樹（植樹）をプレゼントする」という、人の想いが込められていることです。自分で植えるに行かなくても、その樹は贈り主が指定した山に植えられて、10〜20年間「丹念に育てられます。贈られた人の手元には「樹の里親」になった証、植林証明書が届きます。
 その場限りではなく、贈った人も贈られた人も、自然環境を身近なもの、縁のあるものとしてとらえるようになり、ふとした機会にエコアクションに関わるようになることが多いそうです。

そ して、贈り物とは別の活動として、植樹ツアーに参加することもできます。植樹の作業は、何でもできるほどで、決して難しいものではありません。大きな空の下、自然に開まれた山の斜面を歩くだけで、胸がわくわくします。まして自分の植えた苗が育つことを考えると、とたんにその山が愛おしく思えてくるから不思議です。またその後、離れた都会に戻ってからも、自分にゆかりのある樹が育っていると、日常の中で森に想いを馳せる素敵な時間が生まれるのです。
 いろいろ人のさまざまな想いを集めて森をつくる。気軽で価値のある行動としてまずは大切な人への贈り物を通して、その輪に加わってみるのはいかがでしょうか。

「はなの森 植樹イベント」レポート

山梨県笛吹市の「はなの森」にて、5月7日、植樹ツアーが行われました。今回は「プレゼントツリー（運営：認定NPO法人「環境リレーションズ研究所」）」が用意した苗のほか、NPO法人「響」が東京・渋谷の神宮の森で集めたどんぐりを育てた広葉樹の苗を提供。5歳から70代まで総勢91名の参加者により、500本の苗が植えられました。



神宮の森で集めたどんぐりの苗。小さな命がやがて大きな樹となる。



土を掘り、未来の森への想いを託し、1本1本愛情を込めて植樹。



植えた苗は、周囲の草にまぎれないよう、鮮やかなテープでマーキング。



プレゼントツリーには、QRコードが印刷されたプレートを装着。人と自然がつながっていく。

今回はコナラ、クヌギ、ヤマザクラ、ヤマモミジの苗を植樹。毎年多くの樹種をシックスすることで、山はさまざまな花や葉で彩られ、名前どおりの「はなの森」が育っていく。

Present Tree®

その1本の苗の価値を、大切な人への贈り物に

誰もが参加できる森林再生支援

大切な人への贈り物として、環境への想いを共有できるプレゼント。指定した植栽地に苗が植えられ、その植林証明書とメッセージカードがプレゼントの相手先に贈られる仕組みです。植栽地は国内外に10エリアあり、各エリア1口（3,500〜10,000円）からお申し込みいただけます。これまでに植えた本数は約5万本、プレゼントや植栽などに参加した人は約15万人に上ります。また、通常の金額の10%をプラスして、「震災被災地への寄付」をお預かりする「REVIVE JAPAN」も実施しています。



植樹の管理番号を記した証明書(左)とともにメッセージカード、リフレット(右)が届きます。

「プレゼントツリー」のほかに、植樹体験・育樹体験ツアーも随時開催予定。

- 9月10〜11日 北海道植樹体験ツアー
- 10月29〜30日 岐阜県高山市植樹体験ツアー

詳しくは、ホームページよりご覧いただけます。

〈ご利用について〉
 「プレゼントツリー」は、ホームページより申し込みいただけます。お支払いは、[カード決済・銀行振込・代金引換]の中からお選びいただけます。

お申し込み・詳しくは…
 ホームページ presenttree.jp

運営団体：認定NPO法人「環境リレーションズ研究所」